

技能伝承のための部下・後輩指導育成

～技能伝承は、待ったなし！技能伝承の課題を解決しませんか？～

ものづくりの現場では、熟練者が長年培ってきた高度な技能が、企業の競争力を支える重要な資産となっています。しかし現在、その技能を持つ人材の高齢化が進み、技術の継承が急務となっています。一方で、「どう教えれば伝わるのか」「若手がなかなか育たない」といった悩みを抱える現場も少なくありません。

本コースでは、技能伝承の原則を踏まえ、具体的な進め方、ポイント、留意点等を講義とグループワークによる演習等により習得し、自社における技能伝承の課題を明確にしつつ(多様な視点を得る気づきにより)解決を図り、技能伝承の確立と効果的かつ継続的な人材育成を目指します。

開催日時	令和8年7月23日(木)～24日(金) 各日 9:30～16:30			時間数	12時間
定員	15名	受講料	13,500円	開催場所	四国職業能力開発大学校
カリキュラム	1. 日本における技能伝承の現状と課題 2. 技能伝承とは 3. 技能伝承の原則 (1)日常業務として取り組む (2)計画的・組織的に取り組む (3)伝承対象を絞り込む (4)暗黙知の所在確認と明確化 4. 技能伝承は「暗黙知」の管理がカギ (1)暗黙知を表現し管理する手順 5. 技能伝承を成功させている企業の特徴 6. 技能伝承が上手くいかない原因 7. 技能伝承の進め方 (1)組織作り (2)能力項目リストの作成 (3)能力マップの作成 (4)技能・技術伝承の対象技能の選定 (5)伝承計画の作成 (6)暗黙知の明確化作業 (7)教材の準備 (8)伝承指導の実施と成果の検証 8. 技能伝承の進め方のポイントと留意点 (1)暗黙知の見える化 1. 暗黙知と形式知の違い □. 暗黙知のタイプ分けと層別 ハ. 暗黙知の明確化(見える化) •暗黙知を明確にするインタビュー •インタビューの具体的な進め方 (2)能力項目リストの作成・活用 イ. 能力項目リスト作成の進め方 □. 能力項目リストの活用とは？ (3)技能伝承テーマの設定と計画の作成 (4)暗黙知を明確にして教材化する必要性 イ. 熟練者の行動様式と作業理念を知る (5)暗黙知の明確化作業を日常的に行うには (6)技能伝承で「教える側」「教わる側」が注意すべきこと 9. まとめ				
持参品	筆記用具				

【お問い合わせ】

四国職業能力開発大学校

〒763-0093 香川県丸亀市郡家町 3202 番地 TEL:0877-24-6298(援助計画課)

E-mail:shikoku-college03@jeed.go.jp

